

6月広報カレンダー

広報さの

■平成25年5月15日号

■編集 佐野市 政策調整課

※本紙は資源保護のため再生紙を使用しています

- 2日 ・「エコがいっぱい♪リメイクフェア2013」
フリーマーケットほか
〔午前9時～午後3時：みかもクリーンセンター〕
→広報さの5月1日号 P. 11



- 16日 ・郷土博物館企画展
「看板！かんぱん？カンパン！？」最終日
→広報さの5月15日号 P. 10
・楽習講師企画講座
「ダディパパ・アコースティックコンサート」
〔午後1時～3時：佐野市中央公民館〕
→広報さの5月1日号 P. 16

- 30日 ・葛生伝承館展覧会
「牧歌舞伎と吉澤人形首展」最終日
→広報さの5月15日号 P. 10

- 9日 ・佐野市消防操法大会
〔田沼グリーンスポーツセンター〕

- 15土 ・栃木県民の日
★郷土博物館、吉澤記念美術館の入館・観覧が無料になります



強情で負けず嫌いだった5才の正造は、使用人を困らせ、正造の母は、雨の降る夜でしたが、正造を家の外に出し反省させようとした。

■水樹涼子さん（原作者）
このシーンは、正造の自伝「田中正造昔話」から引用しました。子ども時代のエピソードは少ないので、多くの場面に引用されていますが、少し踏み込んで考えてみました。使用人であるじいやが、5才の正造にまともに「絵が下手だ」とは言わないと思



「まんが田中正造」P19～20より

第14回
「シリーズ 田中正造」
「没後100年を迎えて」
「よみがえる郷土の偉人」②

いかにして正造が偉人として育って行くのか。この時の経験で、人間ができあがっていく、偉業を達成していくきっかけになる場面になっていると思います。幼少期はあまり情報がないので、水樹先生の原作を読んだ時のイメージをそのまま絵にしました。普通の子供だった正造が成長し、今後の活躍を予感させる、まんがの中でも重要な場面になっています。

（平成24年10月28日「まんが 発行記念シンポジウム」にて）

ますので、きつと、正造の強情で私の強い普段の様子や、紙や墨などの貴重品を無駄にしていることの戒めをこめて言葉を変えたものと考えられます。そして、そばにいた母も同じ思いで叱って外に出したのでしょう。正造にとって、凶星をつかれたことで意地になり、だからこそ、自分が悪かったと心から反省できたのではないかと思います。

■千葉修平さん（作画監修）

■問合せ 田中正造翁没後百年顕彰事業推進室 ☎(22)8832 URL <http://www.city.sano.lg.jp/shozo-ou/>

